

# 土・まち・みどり

通信 第56号

2014. 8. 4

発行 NPO 法人土とみどりを守る会

連絡先 6421-2118 (事務局)

CONTENTS ◆5月のつどい ◆フラワーアレンジメント講習会報告 ◆おくさわ今と昔 ◆奥沢の歴史を訪ねて  
◆春のつどいアンケートまとめ ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

5月のつどいレポート

## 総会・ミニ園遊会

今年の総会・ミニ園遊会は、代表理事の堀内さんの自宅が「シェア奥沢」として整備されたのを契機に、シェア奥沢での開催を試みました。シェア奥沢は室内が使えるため雨天時の開催が可能であるが、室内、庭、入口にスペースが分散しているため、催し物の場所、人の流れが課題でした。庭への通路は、私的に使用している現在の通路の代わりに、シェア奥沢周りの空地を通路にすることにし、シェア奥沢の仲間の方々と協力して、大谷石ブロックを敷いて作りました。催し物の会場としての庭は意外に広く、花苗販売、食品販売と、庭内での交流がコンパクト

にでき、5月のつどいがシェア奥沢でできる事が分りました。

総会は、室内でプロジェクターを利用して代表が分かり易く、議事を進行し、議案は全て賛成多数で承認されました。

ミニ園遊会は、好天とシェア奥沢の話題性も寄与し、最高の72人の参加があり、いつもの和気あいの交流ができました。

この場を借り、長年空地を提供して頂いた原さんに感謝申し上げます。  
(鈴木)



(会場入口と受付)



(総会風景)

## フラワーアレンジメント講習会報告 (生方由利子さん、伊藤舞さん)

6月15日フラワーアレンジメント講習会に参加しました。今回は小鉢に木の切れはしを輪ゴムでまとめ、生け花の時に使用する剣山の代わりに、枝と枝の間に、花をさしこんでいくという生け方でした。しかし小鉢に止まるようにバランスをとりながら、手でおさえつつ、小枝が、器の中で、すべってしまって、おもうようにととのえられず、皆さんもアッ、倒れる、危ないと苦労していましたが、作品が少しずつ、出来上がり、だんだんおもしろくなって、想像もつかない形になり、それぞれ個性的な作品が出来上がりました。

和気あいあいのうちに、先生より一点一点ご指導を頂き、大変良い勉強になりました。

いろいろな物で、花を生けたり、プレゼントもしたいと思いました。

ありがとうございました。



(講習風景)



(先生による作品例)

# おくさわ今と昔

(このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方、新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、この街にちなんだエピソードを語っていただきます。)

## 「つばめの無事な巣立ちを願って」 緑が丘3丁目 中西 武子

我が家は、緑が丘の駅から数秒の所にありますが、今年も六月に入りますと一階入口の軒下に巣づくりされた”つばめ”の巣に、5羽のひなが、かえりました。可愛い顔をのぞかせて、口ばしを開け、えさを欲しが”さま”に、毎日心いやされて、います。

大人が飛び上って、手をのばせば届いてしまう位置ですので、人にいたづらされたり、又カラスにねらわれたりする事のないよう、無事に五羽が、巣立ってくれるのを願っていますが、以前には、何回か巣がこわされ?こわれ?、ひなが落ちて死んでしまった事もありました。

今年も巣がこわされ?ひなが落ちてしまいました。早く気がつきましたので、脇に作った手作りの巣に移してやりました所、5羽とも、元気に顔をのぞかせてくれ、親鳥も、せっせとえさを運んでいまずのを見て、ほっと致しました。

三十数年前木造作りの二階屋だった時は、二階の軒下に巣づくりをしておりましたので、我が家は、”つばめ”にとっては、ちょうど、都合のよい場所なのかしら?と思い、嬉しく思っております。

毎年、こうしてつばめの様子が、まのあたりに見れる環境が続いてくれる事を、心から願う、この頃です。



(新たに作られた巣とひなにえさを運ぶ親鳥 [撮影鈴木])

### 編集後記

中西さんから原稿を頂いた後に、つばめの家族のその後お聞きしたところ、ひな5羽は全て無事に巣立ったそうです。良かったですね。(鈴木)

## 「地域雑感」

### 奥沢6丁目 服部 楯夫

私が奥沢6丁目に住いして、七十年弱の日が過ぎました。

外地(上海)に生まれ、終戦をいまの土地で迎えた事になります。長じて社会人となり子供二人を育てあげた事は証拠に残っていますが、社会人として何を考えて生活をしていたのか、たいして何も考えず、時を過ごしていたのか、情けない事に判然といたしません。

会社社会をはなれて間もなく母が天寿を全ういたしました。

この母は天性のノンキ者でありましたが、人の面倒見のよい所もありました様で、自治会をはじめとして、赤十字活動、老人会の詩吟や三味線の先生、他にも頼まれると断ることなく大変忙しい日々でした。

この頃私は、若手の方々(現80~90才)からお誘いいただき、九品仏自治会に参加して約8年になります。「安心安全なまちづくり、住みよい住んでみたい環境づくり」のスローガンの元、その一助となるべく仲間と共に活動して居ります。

この数年間ボランティア活動を経験致しまして、地域の住民の多くが、いや大半の方々が自治会・町会活動を理解して下さっており、又何か手伝える事がないか考えておられる事を知りました。

実際に奥沢6・7・8丁目を範囲とし月に6回行う防犯パトロール隊には、自治会役員を除いて、30数名の方が名を連ねており、各々都合のよい日にパトロールに参加しており、又地域の公園の花壇の管理・清掃に20数名の方々が都合の良い日時に作業に当たっています。老人・障害のある方々の施設にスタッフとして手伝いに行っている方々等、頭の下がる思いであります。私も個人として、自治会の一員として努力していく所存です。

今年には「土とみどりを守る会」の熱心な活動を知り、その活動に賛同し会員に入れていただきました。六丁目の住民であります。よろしく御指導下さいませお願いいたします。

## 奥沢の歴史を訪ねてIX

### 奥沢近辺の城址と地名③ 世田谷城址 (ii)

さて、世田谷城址の城郭構造をみてみよう。城址として土塁が残されているのが、世田谷城址公園と隣の東京都公社豪徳寺アパートであり、土塁・空堀・井戸・土坑・溝・釜跡等が現存している。いくつかの曲輪(郭)は区画がはっきりしていて、世田谷城址公園として既に整備されている。但し、現在のよ様な姿の石垣は当然のことながら当時は存在していないと考えられる。

世田谷城址公園は、入口に設置されてある石碑を読むと、世田谷区が東急の前身である玉川電気鉄道より所有地の寄付を受け、公園にしたようである。世田谷城址では豪徳寺の第1次調査に続いて第2～6次調査及び立会調査が行われている。

東京都公社豪徳寺アパートの隣にあったパナソニックの社宅は他社の所有となり、2005年に共同住宅建築工事の届けがなされた。東京都旧跡である世田谷城址範囲内であるので、現状変更届を出させ、立会調査を実施、建物基礎に依る攪乱が標高33mに達していることを確認した。現地標高は36mである。その後、堀の断面を確認、建設工事に先立ち第7次調査が必要になった。

調査では重機による表土除去後、井戸・地下式坑・堀・溝・土抗(主に墓)・ピット群等を検出した。堀に関しては、安全上掘削深度を稼げず、トレンチに頼った。これまで推定されていた「薬研堀」ではなく、断面が逆台形の「箱堀」であり、一部は40cmのレベル差があるので「障子堀」の可能性がある。

井戸は10を数え、帯水面は-3mと浅い。土師質土器等の遺物が収納コンテナ20箱分出土していて、調査後郷土資料館に保管された。およそ13世紀後半～寛永13(1636)年の間のものと考えられる。

尚、吉良氏以前の土抗は、禅宗の寺の周辺に多い武士のものであり、火葬施設もあり、墓と考えられる。吉良氏の弘徳院(文明12(1489)年創建、世田谷城落城の翌年天正19(1591)年、勝光院検地帳に記載があり、吉良氏退去後も存続)のものであろうと推測される。『新編武蔵国風土記稿』によれば、当初は臨濟宗であったが、天正12(1584)年曹洞宗に改宗している。その後、寛永15(1638)年に井伊家が大檀那になったと伝えられている。万治

(私たちの住むまち奥沢の成り立ちはどうだったのでしょうか、調査結果をシリーズで紹介します。)

2(1659)年豪徳寺と改称した。

この調査は世田谷城址の本格的調査としては初めての発掘調査となった。尚、この土地の所有者は現在宗教法人豪徳寺となり、全面的協力のもとに埋め戻され埋没保存されている。

一方、東京都公社豪徳寺アパートについては実情を私は未だ把握していない。元々4棟が建てられていたが、現在は3棟残っている。今も住民が暮らしているの、直ぐ発掘というわけにはいかない。

なお、アパート敷地内で豪徳寺の参道沿いに見える土塁は二ノ郭と申(サ)郭の境界に当たる。吉良館があったと考えられる本郭は豪徳寺本堂があるところで、墓域を含む寺域は小さな土塁等で7つの郭に分かれていたとみられる。

豪徳寺山門前にアパート敷地に対し大きく口を開けた個所があるが、私有地なので縄が張っており、入るには許可が必要である。一番奥に土塁が長く横たわって見えるが、かなり整形されている。この土塁はそのまま金網の境界線を越え、東南側の世田谷城址公園土塁に続いている。世田谷城址公園側も奥の方は整備されておらず、危険な為立ち入り禁止になっている。なるべくこのまま原状を保存して欲しいと考えている。その中に昔、京都より運び、植えられた御所桜が咲いていた場所がある。(赤松)



(土塁と堀跡(東京都公社アパート敷地付近、世田谷城址公園のずっと奥にあたる))



(土塁(公社アパートと豪徳寺参道に沿って現存))



## 「会のあり方についての意見まとめ」(春のつどいアンケートから)

3月に行われた「春のつどい」では皆様から会活動についての感想や貴重なご意見を頂きました。会では議論を始めています。ご意見は匿名で要旨のみを掲載させて頂きました。皆様のご意見をお待ちします

### 春のつどいアンケートのまとめ

(2014.4.30 参加者分にスタッフ分を追加)

#### 奥沢の街の感想(緑等)

・家の建てかえ、代わりによる緑の減少は残念。・参加者の多くが奥沢の緑を気に入り大切に思っておられる。・奥沢について様々な意見があることが分かった(①安全で良い街、交通の便が良い②振り込み詐欺の被害多い③空巢被害も多い)。

#### 交流について

・地域の人達と顔見知りになることの大切さ。・知らない方と交流でき参考になった。・新旧住民の交流をもっと活発に。・住民同志の交流の場をもっと多く開催を。・小さなグループでの話し合いがよかった。・シェア奥沢のような家の解放に加え、塙の外でも座る場所を提供して下さいれば立ち話もできるしコミュニティケーションの場所は貴重。・今回の会議の方法で、会員や地域の方々との交流の良さが改めて分かった。

#### 若い人の参加・継続について

・若い人の参加が欲しかった、世代を拡げる、週一回子供の日をつくる。・元気に継続(どうやって次代を育てるか)。・高齢者の集まりであっても、若い人が目にとまるような活動を伝えていけばよい。・参加者の高齢化を改めて感じた。・スタッフの高齢化対策は至急の課題で知恵を出す必要あり。

#### 歴史について

・歴史に関心(鷺草と常盤姫、海軍村(中町の海軍村も含め)、大井町線の歴史)。・歴史の話聞きながら散策してみたい。

#### “みどりを守る”について

・樹木が減少、まちづくり憲章のようなものが必要(建築時の業者や地主への対応)。・「土とみどりを守る」原点は何か、実績は?新しいアイデアを。・これ以上緑が少なくならない美しい町にするにはどうすれば良いか考えよう。・会当初から言っていた地域協定をつくる(地域の不動産さんへ緑を残す協力を求める)。・やはり土とみどりを守るための仕組みづくりが必要(新築するときに樹を残すことがよいが、残せないうちもシンボルツリーだけでも残してもらおう等働きかける)。・会活動の基本的な立ち位置は何か(例、土とみどりを守るのが原点)を確認しておくべき(現在の活動一土とみどりの保全、良好なまちづくり、地域の歴史と文化発掘、及びニュースレター発行等の広報の枠組みは変えないでよい)。・当初の土とみどりを守るための行動は困難(現状認識と変化への注視は続け、必要ときに行動できる体制を)。・チェリーセージのような活動も有効。

#### “街”に対する見方について

・土とみどりだけでなく、「街」に対する見方を明確に(文化面に目を向ける、歴史でも古老から戦時体験を聞く等)。・テーマを「街の歴史」として語り合えると良い。・若い人が住み易い街づくり、声かけのコミュニケーション。・大目標としてはやはり住み易い街づくりだ。他の地域風景資産等の活動グループには目標となる活動の場があるが、当会の場合はどうするか?。

#### 活動のありかたについて

・他の会とのコラボレーションによる活動の拡大。・会員の人達と共に進んでいく事を考えるべき、そのためには先ず簡単に身近なことから参加できる事から参加しよう(庭がなくても草花をプランターで育て家の前に置く)。・会活動はまず会員のため、次に地域のため。あまり活動を広げすぎないで、今までどおりでよろしいと思う。・スタッフの一人として会員の意見を聞き共に参加通し、皆で土とみどりを守って行きたい。

## 活動報告

●坂内監事から「緑の長城プロジェクト」への取り組みについての提案があり議論しています。東日本大震災発生時には、当会として何をすべきか、何ができるかについて熱い議論が行われましたが、具体的な活動には至りませんでした。当プロジェクトは、がれきに広葉樹を植える防潮堤の一つで、苗作りの費用を寄付する支援活動です。当会として参加すべきか否か議論中です。

●チェリーセージプランターの改善策：既にシンボルフラワーであるチェリーセージを細長のプランターに植えて有志の方の道路側敷地に置かせていただいています。長瀬理事より、樹勢、花の付き方が地植えに比べ貧弱との意見がありました。地植えは無理としても、剪定の仕方を改善する、隅切り等広い場所で大きな鉢の設置を試みることにしました。

●風景づくり活動関係：5月31日に区の風景づくり検討会、6月14日に意見交換会が開催されました。3回目に選定された地域風景資産も含め、風景づくり活動のフォローと充実の取り組みが始まりました。

## 会からのお知らせ

●フラワーアレンジメントに続く新しい試みとしてボタニカルアート(植物画)の入門編の講習会を10月2日(木)、シェア奥沢で行います。講師はマミフラワー講師でもある千葉雅子さんです(同封のチラシご参照)。尚本格コースともいえる千葉さん主催の講習会は、既にシェア奥沢が始まっています。

●今年のまぢめぐりは、10月4日(土)に行います。昨年好評だった樋口一葉の住んだ下町の街並を、今回は「たけくらべ」の舞台となった入谷、三ノ輪(旧吉原付近)をめぐる予定です。集合は9時、自由が丘駅

南口です(同封のチラシご参照)。

●土とみどりを守る会はいつでも新会員を募集しています。会の活動を支える会費は1口1,000円です。どうぞご協力をお願い致します。入会のご相談は下記へお寄せ下さい。

#### 土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-32-11 堀内正弘 5701-5901

世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

世田谷区奥沢 2-18-6 鈴木 仁 3723-6659

ホームページ ; <http://tsuchimidori.net>

e-mail ; [info@tsuchimidori.net](mailto:info@tsuchimidori.net)